

## 小田急電鉄60000形「MSE」のバリアフリー設備のご案内 (2020年3月14日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

\*60000形は2008年3月15日(土曜日)から営業運転を開始した車両で、主に東京メトロ千代田線に乗り入れる「メトロはこね・メトロえのしま」とJR御殿場線に乗り入れる「あさぎり」で使用されています。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

車いすスペース(次ページの配置図で「h」と標記)

5号車の1番A席・2番D席と9号車の1番A席・D席が車いすからの乗り移りに便利  
なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあり  
ます。

また5号車の1番CD席に相当する場所に腰掛1脚(2席分)を撤去した広さの車いす  
スペースがあります。

更に5号車の2番AB席・3番CD席と8号車の2番ABCD席が、介助・同伴者用の  
席として、車いす対応座席と共に一般席とは別枠で管理されています。

(AB席は相模湾側、CD席は丹沢山地側)

ただしこれらの席は、一般席が満席近くなると健常者にも発売されることがあります。

多目的室

設置されていません。

トイレ(次ページの配置図で「O」または「b」と標記)

5号車と9号車の小田原寄りにベビーベッド(おむつ交換台)とオストメイト用設備を  
併設した多機能トイレがあります。

ベビーチェアは多機能トイレの向かいにある女性専用トイレに設置されています。

洗面所

5号車と9号車の小田原寄りに設置されていますが車いす対応構造かどうかは微妙です。

公衆電話

2008年3月15日の運転開始当初から設置されていません。

飲料自動販売機

3号車と9号車の売店区画内に車いす対応構造でないものが設置されています。

受動喫煙の発生状況

2008年3月15日の運転開始当初から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2008年9月7日(日曜日)

箱根湯本17時04分発北千住ゆき「メトロはこね24号」

(全区間を5号車3番A席に乗車)

車両番号・5号車=デハ60202、8号車=デハ60101

(いずれも2007年・日本車輛製)

2020年6月16日(月曜日)

新宿13時00分発「はこね19号」(新宿駅発車前に調査)

車両番号・5号車=デハ60205(2015年・日本車輛製)

8号車=デハ60102(2012年・日本車輛製)

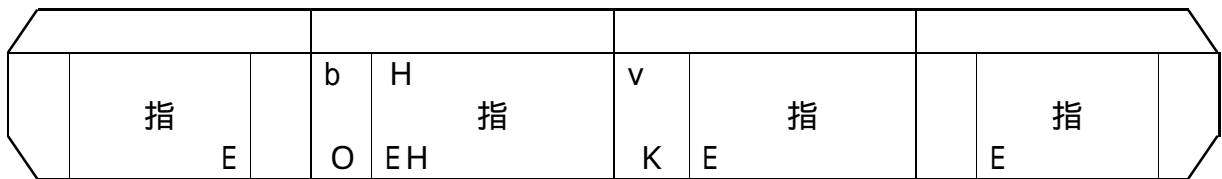
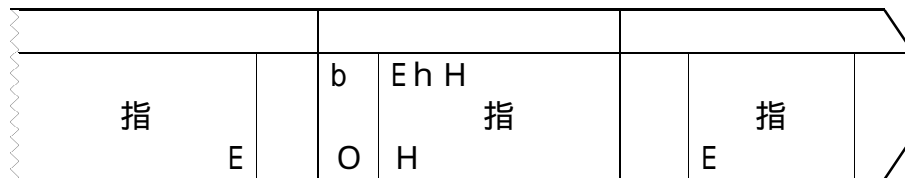
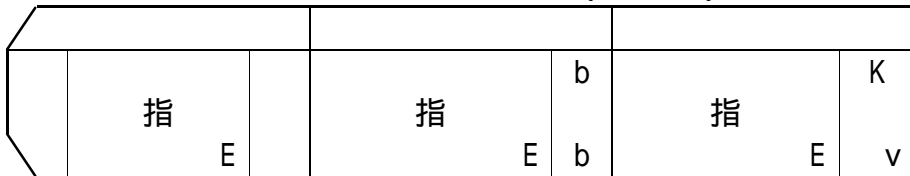
小田急電鉄60000形「MSE」の車内設備の配置図

「メトロはこね・メトロえのしま」では1～6号車が箱根湯本発着で、7～10号車は片瀬江ノ島発着です(「メトロえのしま」は藤沢で進行方向が変わります)。

「あさぎり」は1～6号車の6両編成での運転です。

箱根湯本・片瀬江ノ島 (メトロはこね・メトロえのしま)  
 御殿場 (あさぎり)  
 箱根湯本 (はこね)

北千住  
 新宿  
 新宿



凡例

指 = 普通車指定席

H = 車いす対応座席

O = 車いす・オストメイト対応トイレ(ベビーベッド有)

b = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド・ベビーチェア有)

K = 売店(兼・車内販売準備室)

= AED(自動体外式除細動器)

h = 車いすスペース

v = 飲料自動販売機(車いす非対応)

E = インターホン機能付緊急通報装置

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



小田急電鉄60000形「MSE」



小田急電鉄60000形「MSE」の  
 車体側面のロゴ



小田急電鉄6000形「MSE」の  
5号車2番D席の車いす対応座席  
前の空間は折りたたみ式でない車いすの  
留置スペース



小田急電鉄6000形「MSE」の  
5号車2番D席の車いす固定ベルト  
肘掛けの上には非常通報装置が見えている



上の写真で窓の左側に見えている  
非常通話装置の拡大写真



小田急電鉄6000形「MSE」の  
8号車1番A席の車いす対応座席  
前の壁には非常通話装置が見えているが  
車いすの人には手が届かない高さ  
車いすの人は窓の下に見えている  
非常通報ボタンを使うしかない



小田急電鉄60000形「MSE」の  
5号車の多機能トイレ  
8号車のトイレも同じ構造



小田急電鉄60000形「MSE」の  
5号車の洗面所



小田急電鉄60000形「MSE」の  
多機能トイレに併設されている  
オストメイト専用スイッチ



小田急電鉄60000形「MSE」の  
9号車の飲料自動販売機  
奥の乗降口の左にはAEDも見えている